

ひおき

2012. 3

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

vol.83

主な記事

特集：人権作文表彰	2
行政インフォメーション	4
共生・協働のまちづくり31	9
まちの話題	10
市民の広場	19
わが地域	20



コンテスト最優秀賞受賞

小学生2人が、最優秀賞に輝きました。
さんと伊作田小学校3年の下舞夏鈴さん。
受賞した2人の作文を掲載します。

花田小学校 2年
おかむら あんり
岡村 杏里 さん

低学年の部 最優秀賞 「えがおがいっぱい」

うれしい気持ち えがおを ひろげたい。そんな気持ちをこめて書きました。

「ひる休みいっしょにあそんでくれてありがとう。とてもうれしかったですよ。」
とわたしのことをしようかいするほうそうがありました。
わたしは、びつくりして、まいさんのほうを見ました。まいさんもわたしのほうを見てにっこりわらっていました。
わたしたちの学校では、えがお大すきポストがあります。自分がされてうれしかったことや友だちがいいことをしているところを見つけたり、がんばっているところをみんなにしようかいするポストです。まいさんがわたしといっしょにあそんだことがたのしかったので書いてくれました。まいさんもわたしもえがおがどんだんひろがっていくんだなあと思いました。
二年生になってすぐ、一年生のなごみさんとしゅんすけさんがブランコがこげなくてこまっていました。わたしは、
「おしてあげようか。」
といっておしてあげました。

「わあ、ありがとう。キヤートのしいよ。」
と二人ともよろこんでいました。わたしも一年生のころを思い出して、いい気持ちになりました。
わたしは、お友だちにしんせつにされたり、たすけてもらったときに、「ありがとう。」と心の中で思っているけれど大きなこえでいえませんが、
「ありがとう。」といまいます。
「ありがとうございます。」というこゝとばは、みんなをニコニコひまわりみたいにしてくれるすてきなことばだと思えます。だからゆうきをもつて大きなこえで言おうと思います。
今、一年生にえがお大すきポストにいれるお手紙を書いていきます。きゆうしよくじかんにほうそうされるとき一年生のなぎささんがどんなかおできいてくれるのかなあとしたしみです。

学校教育課から一言メッセージ

今回のコンテストで花田小学校と伊作田小学校から最優秀賞受賞者ができました。本当におめでとうございます。

普段私たちはいろいろな人の関わりの中で生きています。このような関わりの中で生きていくからこそ、「相手を思いやる心」はいつも自分の心の中にもちながら生活しなければなりません。そして、岡村さんや下舞さんのようにその心を行動に表す。そういう実行力も大切な部分です。

たくさんのお友だちが、今回の作文に応募してくれました。作文を書くことによって、自分の人権への意識を振り返り、さらに広めていくことを願います。お二人の作文の題名をお借りすると、「同じ日置市に住む仲間だから、えがおいっぱいの人たちであふれるようになってほしい」。そんな気持ちにさせられる今回の人権作文コンテストでした。



第15回小学生人権作文

伊作田小学校 3年

しもまい
下舞

かりん
夏鈴 さん

県内169校1985作品の中から、本市の受賞したのは、花田小学校2年の岡村杏里1月号で授賞式を紹介しましたが、今回は

中学年の部 最優秀賞 「同じ地球にすむなかまだから」

楽しかった思い出。また会いたい。そんな気持ちをこめて書きました。

「よしみさんが、引っこすことになりました。」

先生の言葉にびっくりしたわたしが、よしみさんを見ると、よしみさんは、さみしそうにわらっていました。わたしは、むねがキュンとなつて、何も言えなくなつてしまいました。

よしみさんがてん校してきたのは、一年生の二学期。ニュージランドという国から来ました。校長室にいたよしみさんは、はだの色がとても白く、キラキラ光る茶色のかみに、すき通るような茶色の目をしていました。

「夏りんさん、よしみさんのお手つだい係をおねがいね。」

たんにんの先生に言われて、つくえをピタッとくつつけたら、よしみさんがにこつとわらってくれました。その時のやさしい目を見て、「なかなかよくなるかなあ。」と心ばいしていた気持ちが、あつという間にどこかへいつてしまったのをおぼえています。

よしみさんは、日本語が全くわか

りませんでした。でも、みんなは、早くなかよくなりたくて、ジェスチャーを入れたながら、一生けんめい話しかけました。みんなが日本語で話しかけると、先生がえい語になおして、よしみさんにつたえます。お手つだい係のわたしも、じゅぎょう

のじゅんび、音楽室や図書室への移動など自分でできることは何でも手つだいました。言葉は通じなくても、みんなとよしみさんは、どんなにかよくなつていきました。よしみさんは、元気があつて生き物が大好きな女の子です。休み時間になると、虫やカエルをつかまえに外へとび出すので、そのたびに、先生やみんなから、

「よしみさん、ジャストモーメン。」と言われて、教室中がわらい声でいっぱいになりました。よしみさんは、昼休みやほうか後になると、先生といっしょにひらがなやかたかなのべん強をしていました。家でも、しゅく題がおわると、お母さんに日本語を教えてもらつていたそうです。だから、一年生がおわるころ

には、話したり聞いたり、ひらがなだけじゃなく漢字を書くこともできるようにになりました。何ばいもど力をしたよしみさんのことを、みんなは自分のことのようによこびました。この二年間で、よしみさんとの楽しい思い出がたくさんできました。わたしにとつて、とても大切なたからものです。

チエコは、よしみさんのお父さんが生まれた国だそうです。わたしは、外国と聞いただけで、とても遠く、もう会えない気がして落ちこみました。おわかれ会の時、友だちのお母さんからの手紙に「同じ地球にすんでいるのだから、きつとまた会えますよね。」と書いてありました。わたしは、はつとしました。

「言葉が通じなくても友だちになれた。外見やすんでいる国がちがつても、心がつながつていれば、きつとまた会える。」体中に力がわいてきました。「よしみさん、せつ対、また会えるよね。同じ地球にすむなかまだから。」



地域包括ケアシステムの実現を目指して

介護保険制度は、介護を必要とする状態になっても、自立した生活ができるよう、高齢者の介護をみんなで支えていくしくみです。また、できるだけ従来の生活が続けられるよう、介護予防事業等を通して在宅生活を支援していくしくみでもあります。

この制度は国や県・市の公費負担と40歳以上の人に納めていた介護保険料でまかなわれています。つまりみなさんに納めていただく保険料は、介護保険制度を支える大切な財源となり、安心してサービスを利用できることにつながります。

そして65歳以上（第1号被保険者）の保険料については、保険者である日置市が3年ごとに策定する「介護保険事業計画」に定める、向こう3年間に必要となる介護給付費をはじめとする介護保険事業費総額の見込みに基づいて決定されることは、広報ひおき1月号（第81号）でお知らせしました。

今回は、平成24年度からの第5期介護保険事業計画が定まりましたので、その概要と介護保険料についてお知らせします。

第5期の概要

第5期計画（平成24年度～平成26年度）では、「団塊の世代」とよばれる人たちが、65歳以上になってくる時期になります。高齢化がさらに

進展することが予測されるとともに、長寿化も進むことが想定されることから、医療ニーズの高い高齢者や認知症高齢者がますます増加することが懸念されます。（表①）

要介護認定者も急速に増えることが予測され（表②）、これまで以上に健康づくりや介護予防を推進し、

要介護状態の予防や改善を重視した取り組みが必要になってきます。

このような中、第5期計画では高齢者が住み慣れた地域で引き続き自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを包括的・継続的に提供する仕組みづくり（国では「地域包括ケアシステム」と呼んでいます）の実現を目指していきます。

このため、次のことを重点的に取り組んでいきます。

1 認知症支援策の充実

認知症を有する人が、できる限り住み慣れた地域で暮らすため、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する地域づくりや介護サービスの充実に努めます。そのために、必要な医療や介護、地域がより連携を深め、一体となった取組みを強化していきます。

また、認知症予防は、日ごろから生活習慣に気を配り健康的な生活を送ることが重要であることから、健康づくり事業関連機関と連携し、脳活性をはじめとする健康づくり事業を強化していきます。

2 医療との連携

入院時から退院後の在宅復帰がスムーズに行われ、在宅でも安心・安全に生活ができる地域づくりを目指

し、医療と在宅支援の連携を深め、情報共有や切れ目ないサービス提供の方法を検討していきます。

3 高齢者の居住に係る連携

独居や要介護状態等高齢者の状態の変化に応じて、「住まい」と「ケア」が柔軟に提供できる環境を目指します。

4 生活支援サービス

独居高齢者、高齢者夫婦世帯、認知症高齢者の増加を踏まえ、高齢者の持つ知識や経験、人とのつながりを生かす仕組みづくり、社会参加に向けたきっかけづくりなど、地域で高齢者を支える生活の質を維持する生活支援サービスの体制を構築します。

高齢者人口および認定者等の推移

第5期計画期間における人口推計は表のとおりです。高齢化は今後も進展するとみられ、計画期間中の高齢者人口は、14668人から15343人に増加し、高齢化率も平成26年には30%を超えることが予測されます。高齢者人口の推移を前期高齢者（65歳以上75歳未満）と後期高齢者（75歳以上）の年齢区分別で見ると、前期高齢者は平成24年から増加する一方、後期高齢者につい

【表①】 総人口および高齢者人口の推計

(単位：人)

区 分	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
総人口	50,682	50,360	49,988
0～14歳	6,404	6,428	6,338
15～39歳	12,398	12,207	11,937
40～64歳	17,212	16,736	16,370
前期高齢者	6,002	6,364	6,726
65～69歳	3,010	3,377	3,679
70～74歳	2,992	2,987	3,047
後期高齢者	8,666	8,625	8,617
75～79歳	3,019	2,871	2,798
80～84歳	2,718	2,723	2,671
85歳以上	2,929	3,031	3,148
65歳以上	14,668	14,989	15,343
高齢化率	28.9%	29.8%	30.7%
前期高齢者	11.8%	12.6%	13.5%
後期高齢者	17.1%	17.1%	17.2%

では、緩やかに減少する見込みで、平成26年には高齢者人口のうち、約44%が前期高齢者、約56%が後期高齢者と予測されます。

第4期計画期間中での要支援・要介護者の認定者の状況を踏まえ、高齢者人口の推計を基に、第5期計画での要支援・要介護認定者を見込んだ結果、表のとおり推計しました。

【表②】 要介護(要支援)認定者の推計 (単位：人)

区 分	平成24年	平成25年	平成26年	
第1号被保険者	要支援1	455	460	463
	要支援2	497	503	508
	要介護1	528	537	544
	要介護2	480	489	496
	要介護3	407	416	423
	要介護4	407	416	425
要介護5	401	409	417	
計	3,175	3,230	3,276	
第2号被保険者	56	54	53	
総数	3,231	3,284	3,329	
認定率	21.6%	21.5%	21.7%	

第1号被保険者の要介護認定者等の人数は、計画期間中の平成24年から平成26年には高齢者人口の増加に伴い、3175人から3276人とほぼ100人増加することが予測されます。

費用はさらに増加し
保険料負担も大きく

高齢化の進展に伴い、医療ニーズの高い高齢者や認知症高齢者、重度の要介護者が増加するなか、介護保険サービスの費用はさらに増加するものと見込まれます。

また、平成22年度から23年度にかけて介護基盤緊急整備事業で増床、新設した施設や介護報酬改定の影響もあって、第5期計画での給付費の

【表③】 介護保険サービス等の費用見込み(第5期介護保険事業計画)(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
介護(予防)サービス 総給付費	4,654,361	4,807,445	4,929,725	14,391,531
特定入所者介護サービス費 等給付費	197,042	203,523	208,700	609,265
高額介護サービス費 等給付費	111,117	114,772	117,691	343,580
高額医療合算介護サービス費 等給付費	14,115	14,579	14,950	43,644
審査支払手数料	6,258	6,464	6,628	19,350
標準給付費見込額 (上記の計)(I)	4,982,893	5,146,783	5,277,694	15,407,370
地域支援事業費見込額(II)	54,426	56,216	57,646	168,288
総費用額 (I+II)	5,037,319	5,202,999	5,335,340	15,575,658

第4期(平成21年度～23年度)と比較して大幅に増える費用をまかなうために、また第1号被保険者の保険料負担率の改定も重なり、介護保険料の引き上げは避けられません。

本市では、県財政安定化基金の取り崩しによる交付金や介護給付費準備基金を充当して介護保険料の上昇

見込みを表③の中の(1)のとおりとしました。

65歳以上(第1号被保険者)の介護保険料は、この標準給付費見込額(I)と地域包括支援センターが実施する介護予防をはじめとする「地域支援事業」の費用見込額(II)を基に算定します。

【表④】 第1号被保険者の保険料 第5期事業計画(平成24年度～平成26年度)

所得段階	対象者	基準額に対する割合	月額	年額
第1段階	生活保護受給者または老齢福祉年金受給者で世帯全員が市町村民税非課税の人	0.50	2,490円	29,880円
第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	0.50	2,490円	29,880円
第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超える人	0.75	3,730円	44,760円
第4段階(基準)	本人が前年の合計所得と課税年金収入額の合計額が80万円以下の人	0.80	3,980円	47,760円
	本人が市町村民税非課税で、前年の合計所得金額が190万円未満の人	1.00(基準額)	4,980円	59,760円
第5段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上の人	1.25	6,220円	74,640円
第6段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上の人	1.50	7,470円	89,640円
第7段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が400万円以上の人	1.70	8,460円	101,520円

全国的に介護保険の費用は増え続け介護保険制度を取り巻く環境は厳しいものがありますが、自立した生活が送れるよう、市民一人ひとりが健康増進、介護予防に努めることが安定的な制度運営につながっていきます。

平成15年度の第2期計画以来の大幅な引き上げとなりますが、負担能力に応じたきめ細かい負担段階を設定し、低所得者層の負担軽減に努めます。

(表④参照)

の抑制に努めましたが、第5期計画での介護保険料基準月額を4980円と設定しました。

平成 24 年 4 月から 市の公共料金等のコンビニ納付が可能になります

平成 24 年 4 月から、各金融機関・郵便局・市役所の窓口に加えて、全国のコンビニエンスストア（コンビニ）でも納められるようになります。コンビニでの納付は、休日・夜間にかかわらず、コンビニの営業時間であればいつでも納付でき、**手数料はかかりません**。

*取扱科目

1) 市 税

市県民税（普通徴収）、固定資産税、国民健康保険税（普通徴収）、軽自動車税

2) 料金等

介護保険料（普通徴収）、保育園保育料、公営住宅使用料、一般住宅使用料、公営住宅駐車場使用料、上下水道使用料、市営駐車場使用料、幼稚園保育料

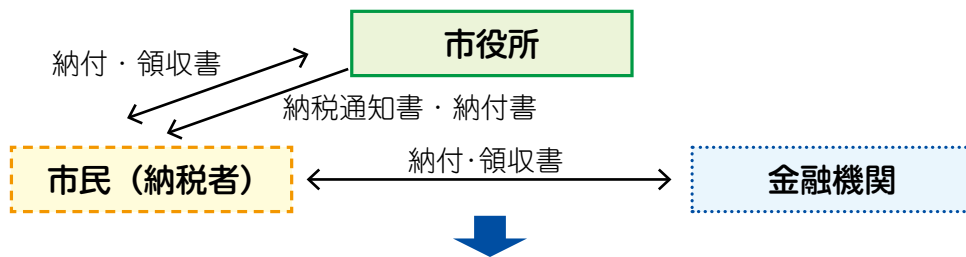
*取扱コンビニ - 全国のお店で納付できます。 -

エブリワン サンクス セブン-イレブン ファミリーマート ヤマザキデイリーストア ローソン
 エーエム・ピーエム くらしハウス ココストア コミュニティ・ストア サークルK スリーエフ
 スリーエイト 生活彩家 セイコーマート セーブオン デイリーヤマザキ ハート・イン ポプラ
 ミニストップ R I C マート

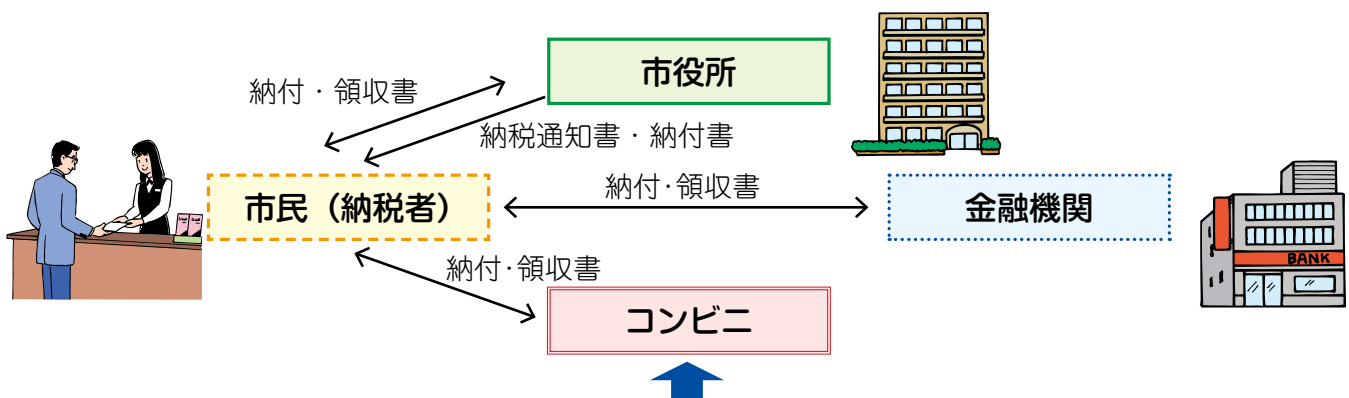
..... お問い合わせは、取扱科目の担当課まで.....

- ◎市税【税務課】 ◎介護保険料【介護保険課】 ◎保育園保育料【福祉課】
- ◎公営住宅使用料・一般住宅使用料・公営住宅駐車場使用料【建設課】 ◎市営駐車場使用料【財政管財課】
- ◎上下水道使用料【上下水道課】 ◎幼稚園保育料【教育総務課】

これまでの納付の仕組み



コンビニ納付の仕組み



コンビニでの納付は、休日・夜間などにかかわらず、コンビニの営業時間であればいつでもできます。納付に係る手数料はかかりません。

納付書は、コンビニ仕様のため期別ごとに一枚一枚分かれて同封されますので、期別をよく確認して納付ください。

《利用できる納付書》

- ・バーコードのついている納付書（バーコードの部分が破損していないもの）
- ・納付書 1 枚当たり 30 万円を超えない納付書
- ・金額訂正していないもの

※納期限が過ぎた納付書は、取り扱いできません。

差押さえた財産を公売

合同公売会

STOP 滞納!

— 日置市も昨年に引き続き出品「県・市町合同公売会」 —

鹿児島県内の自治体が税金を滞納した人から差し押さえた財産を売る「県・市町合同公売会」が2月2日、かごしま県民交流センターで開かれました。

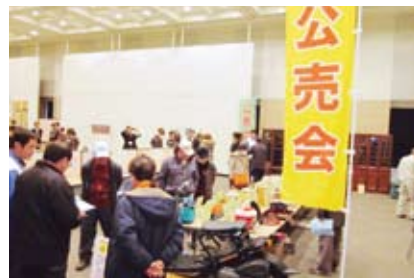
会場では県をはじめ、日置市など県内の12の市や町から、差し押さえた液晶テレビやミニバイクなど300点が売りに出されました。

当日の公売参加者は228人で、最終出品数300件中243件が落札され、総売却価額は567,348円に上りました。そのうち日置市から出品した5点についても、すべて落札されました。

さつま町から出品されたミニバイクは、特に注目され、50,400円の見積額に対し70,000円で落札されました。

落札された物品の代金は、滞納者の未納税金の支払いに充てられます。

市では、公平・公正な納付環境を維持するため、家宅捜索・公売を含めた厳正なる処分を推進するほか、支払督促や訴訟など裁判上の手続きについても一層強化し、市税等の徴収率向上に努めます。



品定めをする来場者



購入手続きを待つ落札者

特別滞納整理課質問箱

「滞納Q&A」

最近、実際に受けた相談です。



Q：国民健康保険税を滞納するとどうなりますか。

A：保険料を未納のまま放置すると、保険証に代えて資格証明書が発行されます。これは、保険診療は受けられますが、受診時にいったん医療費全額を自己負担し、後日保険負担分の支給申請をしていただくこととなります。

Q：自宅を差し押さえられました、どのような影響がでますか。

A：地方税法では、滞納となっている税金は、納税義務者の財産を差し押さえ、処分することにより徴収しなければならないと定められています。

差し押さえを受けると、自らが所有する財産でありながら処分などの自由が利かなくなります。逆に、市など差し押さえを執行した機関が財産を処分する権利を取得することになり、所有者に代わって財産の売却や権利の行使また契約を解約することにより、支払われる金銭を受け取ることができるようになります。

休日一納税・納付総合相談窓口を開設します

— 平日お忙しい方のための相談窓口です —

仕事などの都合で、平日の窓口開庁時間内に納税・納付相談に来庁できない方、事情により納期限内に納付することができずに困っている方など、この機会にぜひご相談ください。

休日窓口開設の日時 3月31日(土)
4月1日(日)、7日(土)、8日(日)
いずれも、8時30分～17時

相談窓口 日置市役所本庁1階 特別滞納整理課
相談業務 市税、国民健康保険税、介護保険料、市営住宅使用料、保育料、後期高齢者医療保険料など

※相談内容によっては、後日改めて連絡させていただく場合があります。



【お問い合わせ先】 本庁 特別滞納整理課 TEL 273 - 2111 (内線 1170)

総合五位!

未来への飛躍誓う

二月二十五日から二十九日まで第五十九回県下一周駅伝が開催され、十二地区（各地区登録選手二十一人）を代表する選手が計588・6歳の薩摩・大隅路を力強く駆け抜けました。

「輪く過去から未来を繋ぐ一本の樺」をチームのキャッチフレーズに掲げ、日置チームは地元入りとなる大会二日目の二年連続の日間優勝とAクラス入りを目指して大会に臨みました。

今年、九州一周駅伝に出場した社会人を中心にチーム力を強化。郷土入りした二日目は、地元の熱い声援を受け、二年連続の日間優勝に向かってスタートしました。六位でたすきを受け取った四区大迫



選手が区間賞の快走で一位に順位を上げるなど力走。しかし総合力で勝る川辺、始良チームにかわされ、惜しくも二年連続の日間優勝は達成できませんでしたが、十区の森選手が区間賞を獲得し、日間三位でゴールしました。

三日目以降は、肝属チームとAクラス入りをかけて選手とスタッフ一丸となって挑みました。最終日の三区篠原選手、十区早馬選手が区間賞の走り、日間五位でゴールしましたが、肝属チームに累計タイムで及ばず、目標としていたBクラス優勝Aクラス入りはなりませんでした。しかし、総合五位という昨年の順位を死守することができました。

反省会では、区間賞など各部門の表彰があり、今大会での経験を生かし、来年のさらなる飛躍を誓いました。

日置市関係者紹介（敬称略）

区分	氏名	所属
監督	船倉 利幸	日置市役所
	今屋 譲	日置消防
コーチ	前屋敷 満	日置市役所
	小園 秀作	日置市役所
	高田 敏寛	鹿児島城西高校
	柿内 裕也	モリナガ伊集院店
	谷口 功	鶴丸小学校
	徳重 祐児	日置消防
	下池 正	東市来中学校
	有馬 拓美	日置消防
	篠原 正大	日置消防
	能勢 勇作	日置消防
選手	宇都 邦和	串木野中学校
	赤崎 研二	N T T西日本ホームテクノ九州
	中村 泰士	Aコープ鹿児島

区分	氏名	所属
選手	早馬 仁	国分自衛隊
	橋之口 悟	志學館大学
	中間 純一	志學館大学
	右田 竜士	鹿児島国際大学
	松枝 拳	第一工業大学
	山下 大貴	志學館大学
	大迫 寛和	鹿児島城西高校
	田之頭貴臣	鹿児島城西高校
	吉村 健人	鹿児島城西高校
	園田 将二	鹿児島実業高校
	船倉 彰二	鹿児島実業高校
	森 康平	鹿児島城西高校
	田熊 慎	鹿児島城西高校
	岡田 一星	鹿児島城西高校

篠原正大選手が十回目の出場

今回が出場十回目の節目となった篠原選手（日置消防）はチームの中心選手として活躍しました。

今大会初出走となった大会二日目は、地元の吹上を走る二区を区間三位と好走。三日目と最終日の三区を区間五位、区間賞の走り、社会人として安定した走りを見せチームの総合五位に大きく貢献しました。

チーム結束!

Cクラス優勝

一月二十九日に、第二十五回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会（全六区間21・0975歳）が霧島市で開催され、日置チームがCクラス優勝を果たしました。

今年の日置チームは、高中生に新メンバーを加え、大会初の女性監督となった松田望監督のもと、昨年の夏から強化練習を実施。チームの結束と絆を深め大会に臨みまし

た。大会では、一区から鹿児島が抜け出す展開となり、日置チームは苦しい展開。しかし、選手一人ひとりが一本のたすきを懸命につなぎ、最終ランナーの満園選手が、前を

走る熊毛に約四十五秒あった差を見事逆転！そのままゴールし、目標であったCクラス優勝をつかみ取りました。また今大会では、躍進賞（第三位）も受賞し、来年度につながる実りある大会となりました。

日置市関係者紹介（敬称略）

区分	氏名	所属
コーチ	谷口 功	鶴丸小学校
	前岡 麻樹	養護老人ホーム聖寿園
選手	満園 奈津美	日置市役所
	茶園 美紗子	県土地改良事業団体連合会
	羽田 梨乃	伊集院高校
	山崎 華香	加世田高校
	諏訪原 鈴華	鹿児島城西高校
	松枝 未代	吹上中学校
	大庭 真季	東市来中学校
	今田 聖奈	東市来中学校



「温もりあふれる共生・協働の地域づくり」。今回が最終回です。

この連載は、平成21年7月発行の広報おき第51号から始まりました。目的は、市民の皆さんが「共生・協働」への理解を深め、さまざまな活動に参加していただくこと。

平成19年市内の小学校区等26カ所に生涯学習と共生・協働の拠点として、地区公民館が設置されました。それを受け、平成20年度には第1期地区振興計画の策定に取り組みました。しかし、地区公民館という組織がなかった地域や、生涯学習中心だった地域では、その位置付けや役割が十分に認識されていない状況でした。

また、自治活動を展開する自治会では、「校区の範囲に自治会をつくって、何になるのか」という声もありました。

相互に支え合う

共生・協働は身近なものであり、気軽に参加できるもの。地区や自治会の事例などを通して、その一端を紹介しようというのがこの連載の狙いでし

た。

一定の概念はありませんが、明確な理論が確立されたものではない共生・協働。この取り組みには、これまで掲載してきたように、地域の特徴によって、多彩な取り組み方があります。

ボランティアや非営利団体(NPO)の活動がクローズアップされたのは、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災が契機といわれています。

高度経済成長以降、都市部は人口集中による過密化が進む一方、農村部では人口流出が続き、過疎・高齢化が加速しました。その都市部を襲った突然の災害は、人と人との結びつきが最も大切なことを教えてくれました。阪神地域では、市民が近隣やボランティアと協力し合って生活の自立を目指す中、行政は社会インフラの再整備に傾注してきました。その復興は世界が注目する早さだったといわれています。

昨年3月に発生した東日本大震災でも、不自由な避難所生活

の中、相互に助け合う姿は記憶に新しいところです。

公共サービスが停止する中で、近隣が支えあい、地域コミュニティとしての機能を再構築する必要を、未曾有の災害により知ることになりました。

地域の力が地域を守る

国は阪神・淡路大震災で発揮された地域の力に着目し、平成10年、特定非営利活動促進法(NPO法)を制定し、市民活動の



温もりあふれる共生・協働の地域づくり31



サービスを提供していくには、いま一度、そのあり方を見直す必要もありました。

「本来、市民と協力してやるべきことを公共サービス化してないか」「市からの補助金に頼りきっていないか」。

市民も市も、歩み寄り、自助・互助・公助を再整備しながら、公共サービスの新しい形をつくることも必要です。

日置市では、共生・協働を進める受け皿として地区公民館を設置し、地区振興計画という手法で実現しようとしています。

現在、策定された計画に基づき、地区の公共的課題が少しずつ改善されています。さらには、地区民が作業に参加することで、財源を有効的に活用する動きも増えてきました。

共生・協働のまちづくりを語る

自治会が機能しがたい大都市と比較して、日置市には自治会加入率96%という強い地縁の絆があります。自治会活動が維持・継続されることは、日常生活に

おいても、市全体にとっても大きな意義があります。

自治会の数は合併当初から100カ所近く減少しました。「統合できる余力のあるうちに」と、自主的に話し合いが進められ、自治会が再編された結果です。

個人や近隣でできること、自治会や地区公民館がやれること、行政や関係団体の支援を必要とすること、行政がやるべきこと……。人数や立地など、地域の状況は異なりますが、それだけにできることを話し合うことが求められています。

日置市では「共生・協働のまちづくりを語る会」を設置しました。委員は、各地区から推薦された26人。推薦の条件は、館長や自治会長など、現在、リーダーではない市民などです。

会では一年間、地域の現状や情報を持ち寄り、共有しながら、課題を明らかにし、日置市の共生・協働や市民参加の方向性を取りまとめる予定です。

共生・協働は身近なものです。皆さんの協力と行動の積み重ねが、元気な日置市をつくりま

二月十八日から二十六日にかけて、野首地区をメイン会場に、FUKIAGE WANDER MAP 2012が開催されました。

このイベントは、「芸術による地域振興・地域づくりの実践」をテーマに開催されており、野首小跡にアトリエを構える「情熱家」博多和宏さんを実行委員長に、野首地区の住民と全国各地から集まった約二十人のアーティストが、地域に約一ヶ月間滞在し、伊作商店街や吹上温泉郷などで地域の方々と協働しながら、様々なアートが創られる芸術祭です。

今年で四回目になり、年々パワーアップしているイベントに、県内外からたくさんのお客様が訪れました。

子どもたちに大人気のスタンプラリー、メイン会場はもちろん、サテライト会場にもたくさんの方々足を運び、吹上の魅力とコラボレーションする芸術家の作品を堪能しました。

また今年も、各所でのさまざまなワークショップやライブイベントに加えて、最終日にボンダンス大会を開催。新たに「吹上砂丘音頭」が発表され、約二百人の参加者とアーティストが冬の「ボンダンス」を楽しみました。

FUKIAGE WANDER MAP 2012



①オープニングは雪のちらつく中、元気よくマーチングを披露 ②恒例の潮浜詣りで開幕 ③、⑦～⑩各サテライト会場では作品展示や公開制作も行われました ④来場者にはお茶と手作りおやつが振る舞われました ⑤新鮮野菜やオリジナルラベルの焼酎、野首地区婦人部の新商品「ショウガ蜜」も販売 ⑥各会場に設置された博多氏シルエットの派手な案内看板 ⑫⑬スペシャルライブではステージでさまざまなパフォーマンス ⑭⑮最終日夜のボンダンス大会では新しく「吹上砂丘音頭」が披露され、約200人の参加者が1時間半を楽しく踊りたくさん笑顔が弾けました

地域の特産品を大勢の方に

第一回山形屋ひおき物産展



PRレディも宣伝



イチゴの試食



大勢のお客さんと賑わいました



二月十五日から二十一日までの七日間、山形屋一号館地階中央催し場で、第一回山形屋ひおき物産展が開催されました。市観光協会が主催し、市の特産品や農産物の販売で、販路の開拓、拡大により、地場産業の振興を図るものです。期間中は、市内十二店舗が出店。特産のお茶や伊集院まんじゅう、日置和牛にチリメンジャコなど、さまざまな特産物を販売しました。

イチゴの販売所には小さい子どもたちが試食に訪れ、「すごくおいしい。お父さんこれ買って」とねだる姿もありました。

ひおきPRレディの三人も応援に駆けつけ、特産品などの良い所を積極的に来場者に説明。会場からは「いらっしやいませ」の元気な声が止むことはなく、連日大勢の来場者でにぎわい、日置市の良さを知ってもらった機会となりました。

ベストを尽くして

ファンキートモンキーズ九州大会出場



九州大会での活躍を期待しています

二月二十八日、九州大会に出場する妙円寺小学校女子ドッジボールチーム「ファンキートモンキーズ妙円寺」が、市長を訪問しました。

同チームは、二月十九日に開催された鹿児島県大会予選を四位で通過。キャプテンの前田涙奈さんは「キャッチが多い試合をしてベストを尽くしたい」、副キャプテンの田邊咲樹さんは「上位を目指してみんなで頑張りたい」と九州大会に向けての意気込みを話しました。

ラベルに思いを込めて

「交通安全祈願焼酎」ラベルデザイン表彰式



表彰を受けた交通安全ラベルデザイン

交通安全ラベルデザインの表彰式が、二月二十二日に十八番館で行われました。

市の交通安全関係五団体が、交通安全と飲酒運転防止の思いを込め企画。ラベルデザインを市内各中学校から募集し、工夫を凝らした多くの作品が寄せられました。

受賞者は以下のとおりです。

- ▼市長賞 伊集院北中二年 内田和志くん
- ▼市教育長賞 吹上中一年 梶井亜海さん
- ▼日置警察署長賞 日吉中二年 福盛衣真さん
- ▼審査員特別賞 上市来中二年 今田礼さん

さらなる事業拡大を

企業立地協定調印式



左から宮路高光日置市長、川野俊彦県産業立地課長、杉木一明代表取締役

三月二日、市役所で企業立地協定調印式が行われました。

今回協定を結んだのは、株式会社エフエー。平成十年に東市来町の皆田工業団地内に事務所を設置し、増設を行うなど事業規模を拡大するとともに業務領域を広げました。

現在は半導体製造装置および農業用自動機などの設計や製作を行い、国内外の大手半導体関連企業と取引があるなど、その技術力は高く評価されています。

杉木一明代表取締役は「今後、も県や市の協力していただきながら頑張っていきたい。雇用の面でもお役に立てるようにしていきたい」と話しました。

宝くじ助成事業で自治会活動を活性化

野田自治会・麓東自治会・立野自治会

宝くじ事業収入を原資とした「平成二十三年度コミュニティ助成事業」を活用し、三自治会が、公民館備品を整備しました。整備を行った自治会では、「公民館利用促進」と「高齢者の利便性向上」を目的に事業を行いました。

エアコンや会議用テーブル、折りたたみ椅子を整備しており、それぞれの自治会で高齢者が集まりやすい環境づくりを行っています。

また、ランドゴルフ用品の整備など高齢者の健康づくりも

視野に入れた備品も整えました。

備品の整備により、自治会活動がますます活性化し、地域づくりの推進が図られることが期待されます。

宝くじの収益は、このように地域づくりに還元され、役立っています。

宝くじは「夢」を見させてくれるだけではなく、地域も元気にしてくれます。

宝くじの積極的な購入をお願いします。



【野田自治会】
購入した机とイスで話し合い



【立野自治会】
購入したカラオケ等で広がる笑顔



【麓東自治会】
さっそく活用された視聴覚備品

品質の良いイチゴが勢ぞろい

市いちご部会品評会



パックの詰め方も審査します

二月十日、市いちご部会の品評会が、伊集院地区公民館で開催されました。

四十四農家が出荷した商品審査員が無作為に抜き取る方法で審査。色や形、光沢に加え、パックの詰め方もチェックしました。

本年度は糖度が高く、甘くて品質の良いイチゴが並びました。結果は次のとおり（敬称略）。

一位 小園 春男さん
二位 奥 和俊さん
三位 池田 澄弘さん

家族の絆で経営拡大

平成二十三年度家族経営調印式



今村さん家族（前段左6人）と榎園さん家族（前段右3人）

二月二十一日、平成二十三年度家族経営調印式が、市役所で行われました。

今年度は伊集院地域の榎園芳盛さんと東市来地域の今村一弘さんが、それぞれ家族経営協定を結ばれました。

後継者である榎園千年さんは「家族の絆も深まり、売上拡大を行いたい」とあいさつ。同じく後継者である今村優貴さんも「家族で経営を頑張っていきたいです」と抱負を述べました。

みんなで力を合わせて

第13回いじゅういんカップドッジボール大会

第十三回いじゅういんカップドッジボール大会が、二月十二日、伊集院総合体育館で開催されました。



魂を込めて投げました

児童の交流を図り、豊かな心と体を育てようとした大会。今年は市内から三十五チーム、五百五十人を超える児童が出場しました。

選手たちは今まで協力して練習してきた、巧みなパスワークを駆使して一進一退の攻防を繰り広げていました。

結果は次のとおりです。

【Aパート】

優勝 にんじん61

優勝 伊小フェニックス19

地域ぐるみで定住者を呼び込め！

「J・Uターンふるさとづくり」日置フォーラム

二月十五日、東市来文化交流センターでNPO法人まちづく



海士町の取り組みを語る講師の大江氏

り地域フォーラムの主催「J・Uターンふるさとづくり」日置フォーラム」が開催されました。

フォーラムでは、島根県隠岐諸島の一つ海士町の産業創出課長大江和彦氏による講話が行われました。町独自の地域資源を生かした産業振興策を進めた結果「J・Uターン者が増え、この方たちがキーマンとなり、まちづくりに貢献していることなどが紹介されました。

気合の一刀入魂

第四十三回建国記念の日剣道大会

二月十一日、吹上浜公園体育館で建国記念の日剣道大会が開催されました。



激しいつばぜり合い

この大会は、永吉南郷会が主催して行っており、小学校団体の部に二十四チームと中学校団体の部に八チームが参加して、団体戦と個人戦が行われました。子どもたちは寒さを吹き飛ば



熱戦が続きます

す気合で勝負に挑んでいました。成績は次のとおり（優勝のみ市内関係）。

中学校団体◇伊集院剣心館
小学校個人6年◇牧枝和志
中学男子個人1年◇上遼太郎
中学男子個人2年◇岡元敏基
中学女子個人2年◇瀬戸口陽子

みんなで守る 地域環境

江口川清掃活動



大勢の人が参加しました

一月二十二日と二十九日、鶴丸地区（東市来）内を流れる江口川の清掃活動が行われました。

同地区の懸案事項であった川のアシ等の除去について「共生・協働のまちづくり」という観点から、地区環境美化部が中心となり、地域住民と一緒に実施した環境整備事業です。

両日ともに五十五人程度の参加があり、伐採されたアシ等を手際よく処分していききました。

立志の誓いを胸に

日吉中学校立志式

二月三日、日吉中学校で立志式が行われました。

立志式は、二年生を対象に自覚と奮起を促すために行われる行事です。

男女四十九人の生徒が、立志の誓いをそれぞれの胸に刻んでいました。

また、旧日置中学校卒業（昭和三十五年卒）の株式会社仏壇の古屋鋪代表取締役古屋鋪秀昭氏を講師に迎え、「中学生よ目標を持って！」と題して、小学校、中学校時代に育んでいた夢について記念公演が行われました。

生徒たちは、自分たちの今と照らし合わせながら真剣に聴き入っていました。



立志の誓いを述べました

安心安全で、明るくすみよい地域づくり

吹上地域生涯学習大会・女性大会



各婦人団体も堂々の発表

二月四日、吹上中央公民館で生涯学習大会と女性大会が合同で行われました。

吹上地域各種女性団体連絡協議会が主催して開催され、公民館講座などの合同閉校式や社会教育功労者の表彰と紹介、各女性団体の代表者が、活動報告と今後の目標などを発表しました。



アイデアで成功を！

また記念講演では、MBCタレントの柴さとみさんが、取材の中で出会ったさまざまなアイデア事例を紹介しながら、楽しいお話で会場を沸かせました。

自らの生きがいと心の豊かさを求めて

東市来地域女性大会

二月四日、東市来地域生涯学習フェアが東市来文化交流センターで開催されました。

コーラス講座生の美しい歌声で開幕した講座閉校式は、二十二講座全百七十四人が講座を修了。マレーシアダンスの成果披露や、鶴丸地区女性学級の取り組み発表が行われました。

また、MBCタレントの猪俣睦彦さんの講演が行われ、会場を訪れた市民は、楽しそうに聴き入っていました。



会場ではマレーシアダンスも披露されました

生涯学習の推進による心豊かな人づくり

日吉地域生涯学習推進大会



会場には素晴らしい音色が響きました

日吉地域生涯学習推進大会が、二月二十五日、日吉老人福祉センターで開催されました。

学習関係の成果発表では、中央公民館講座のハーモニカ講座と地区公民館講座の健康体操講座生が、学習成果を発表すると、会場は拍手喝采でした。

記念講演では、MBCタレントの猪俣睦彦さんが、「笑って元気！私の仕事」と題して講演。自分の体験談を交えながらおもしろおかしく話すと、会場からは笑いがあふれていました。

私たちが身近なことから始めよう

東市来地域女性大会

「一人ひとりの知恵と活動で住みよい地域づくりを」をテーマに東市来地域女性大会が、二月



支えあうことの大切さを語る塩川先生

十四日開催されました。東市来文化交流センターには、東市来地域婦人団体連絡協議会の構成九団体から百人を越える会員が詰め掛け、各団体の活動状況の確認と更生保護女性会の活動報告を受けました。

また、大会講演としてかごしま環境未来館で環境学習・活動支援相談員を務める塩川哲朗氏が「環境を大切に生きる方々」と題し講演を行いました。

お世話になっっている

地域のために

ボランティア清掃

一月末から二月初旬に掛けて東市来の玄関口の一つ湯之元駅で地元小・中学生によるボランティア清掃が行われました。

一月三十一日は、東市来中一年生が作業を行いました。駅ホームのほろけやゴミ拾いだけでなくトイレ、待合場のぞうきんがけなど駅構内あらゆる場所をピカピカにしました。

また、二月九日には湯田小六年生組児童が清掃を実施。駅構内の草取りや駐輪場および周辺駐車場の落ち葉拾いなど、一生懸命取り組みました。

今回の小・中学生の清掃で湯之元駅は、一層きれいで気持ちのいい玄関口となりました。



トイレもピカピカに掃除！

みんなで守る、地域の大事な文化財

伊作城跡周辺清掃ボランティア作業

二月十二日、日新公顕彰会と吹上町建設同友会が、伊作城跡周辺のボランティア清掃作業を実施しました。

これは毎年、両団体がそれぞれに行っているものを、翌週に実施される「吹上地域ふれあい文化財史跡めぐり」に合わせて同日に実施したものです。



空堀では重機が活躍

日新公顕彰会は、周辺地域の住民にも参加を呼び掛け三十九人が参加して、主に亀丸城跡の清掃作業も行いました。

建設同友会は十五人が参加し重機を使い、東ノ城跡の空堀の整備・清掃作業を行いました。



見晴らしも良くなりました

もっと知ろう、地域の史跡と歴史

吹上地域ふれあい文化財史跡めぐり

二月十八日、吹上中央公園を起点に、吹上地域ふれあい文化財史跡めぐりが行われました。

市教育委員会、子ども会育成連絡協議会、日新公顕彰会、伊作地区公民館が合同で世代間交流をしながら、地域の文化財や自然に触れてもらおうと開催。

子ども関係者を中心に百二十四人が参加し、伊作お飯屋跡を出発。亀丸城跡を中心に史跡を巡る約4kmのコースを歩き、講師の説明に耳を傾けました。



普段めつたに登らない山城



武家屋敷跡に珍しい蔵

新たな発見が次々と！

ふれあい文化財史跡めぐり歩こう会

上市来地区（東市来）で二月十八日、第三十三回ふれあい文化財史跡めぐり歩こう会が開催されました。

雪が吹き付ける悪天候で史跡めぐりは見送られました。上市来地区公民館内ホールで、市文化財保護審議会委員の楠生恭二先生が、映像を使って地区内の史跡を紹介。また、案内役を務める予定であった地元上市来中の生徒も、史跡について事前に調べた内容を一生懸命説明をしました。



大勢を前に一生懸命説明

見て感動。まねて上手に

南九州美術展示見学

二月十六日、伊集院小五年生の児童が、市中央公民館で行われていた南九州美術展示を授業の一環で見学を行いました。

児童たちは、気に入った絵画、版画、習字の感想や気に入った理由などをプリントに書いたり、一番すてきだと思った絵を模写したりしました。

児童からはすごいなどの声も聞かれ、美園寛人くんは、「たくさんさんの絵があつてとてもきれいだった」と感想を話しました。



真剣な眼差しで見つめます

キバレ！ 湯之元商店街！

竹灯笼フェスタ2012

二月十八日、「湯之元商店街竹灯笼フェスタ2012」が行われました。

湯之元商店街活性化を図るために企画された今回のイベント。きばれ商店街が主体となり、地元通り会と飲食店組合が共同で開催しました。事前に準備した千本もの灯笼が、人々の行きかう湯之元商店街の本町とおりを淡く優しい光で照らしました。

温泉神社では、境内付近にたくさん灯笼が飾られ、神秘的な雰囲気を作り出していました。雪が舞うたいへん厳しい寒さでしたが、見物客は雰囲気やライブ演奏などを楽しんでいました。



思いの込められた灯笼でライトアップ

おやっ！？広報誌の様子が・・・

4月から広報誌をリニューアルします！！

東市来、伊集院、日吉、吹上の4町が合併し、広報ひおきが発行されるようになって6年が経ちました。これまでも担当者の色を出しながら市民の皆さまに情報を発信してきました。平成24年4月号からは、これまで以上に市民の皆さまに楽しみながら読んでいただけるような広報誌を目指して、リニューアルを随時行います。

リニューアルの主な内容

1

月と共にある広報誌へ

発行日の変更

「第4金曜日発行」→「第2金曜日発行」

「月と共にある広報誌」を合言葉に、今まで発行していた第4金曜日から第2金曜日に発行日を変更します。皆さまのお手元に少し早く届くことになります。

■ 発行日変更の主な理由

「月によっては残りが2、3日ほどしかない状態でその月の広報誌が届くことがある。遅くないか。」と市民の方から寄せられたご意見を参考に、このたび発行日の変更をさせていただきました。

2

ばらけないめくりやすい製本へ

製本方法の変更

「とじなし」→「中とじ」「とじ穴あり」→「とじ穴なし」

「ばらけないめくりやすい製本」を合言葉に、製本方法をとじ穴を無くし、中とじ(中央をホチキスでとめる)に変えます。保存の際は、各個人で穴あけをお願いします。

■ 製本方法変更の主な理由

「読んでいる最中にページがどンドンずれていってしまう」「配る時にばらばらになってしまう。ポストから出そうとする時点でばらばらになっている」など市民の方や自治会長から多くの意見をいただいています。ご意見を参考に、変更させていただきました。

3

そのほか、広報ひおきに無かった新しい企画に取り組んでいきます！

今までの広報ひおきには無かった、新しい企画の準備を進めています。新しいシリーズの開始、表紙の変更、有料広告の導入などさまざまなリニューアルを予定しています。市民の皆さまが楽しんで読んでいただけるよう取り組んでいきます。

■ リニューアルに関するご質問

リニューアルに関することでご不明な点につきましては、総務企画部企画課広報統計係までお問い合わせください(内線1266)



みんなでひろげよう!「元気な市民づくり運動」
平成23年度介護予防・健康づくり大会
～生涯現役で豊かな人生を過ごすために～



元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

「平成23年度介護予防大会・健康づくり大会」が、1月29日(日)吹上中央公民館にて行われ、約400人の方が参加されました。

講演や活動発表、展示・測定・相談コーナー等で楽しみながら、健康で明るい生活を送るための意識を高める良い機会となりました。



講演「食べ物にはドラマがあり」
～心を育む食と農～ 講師：千葉 しのぶ氏

霧島市で実際に行っている「霧島食の文化祭」や「畑んがっこ」等、郷土に根ざした活動に熱心に取り組む様子を講演してくださいました。

「子どもにご飯を作るのが面倒だ、と言わないで。手作りのご飯は、‘大事に育ててもらった’という思いにつながります」親から子へ、食育を通して命の尊さ・素晴らしさを伝えていくことの大切さを考えさせられ、感動的な講演に涙される方もいらっしゃいました。

活動発表

- 1、「地区公民館健康づくり活動」
吹上地区公民館 下野春世氏
- 2、「おながスッキリ体験」
スッキリ教室参加者 九万田久志氏
- 3、「いつまでも元気教室に参加して」
教室参加者 吉永ルリ子氏



皆さんもいろんな教室に参加してみてください! 元気になって笑顔も増えますよ!

健康づくり活動や各種教室への参加で、毎日いきいきと生活されている方々の貴重な発表が聞けました。

日置市の現状発表

医療費分析と生活習慣病予防の寸劇



生活習慣病が重症化した方は、過去特定(基本)健診の受診履歴がほとんどない。また、健診や病院受診中断の空白期間後重症化している。
☞健診を受けることが重症化予防のためには必須。

特定健診・がん検診を受けましょう!!

介護保険の現状と介護予防の寸劇

運動をして、足が軽くなりました!



展示・相談・測定コーナー

食生活改善推進員
☞高血圧予防コーナー☞

塩分濃度の違うみそ汁の飲み比べができました!



地域リハビリテーション
広域支援センター
☞腰痛・肩こり相談☞

☞お口の健康☞



その他のコーナーも大盛況でした!!



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。



二月受付分 (敬称略)

伊集院地域

(出生児)	前田 季	(保護者)	大樹 下方限
大川内 眞翔	良彦	天神馬場	
田代 侑芽	純悟	妙円寺一区	
星原 妃依里	翔太	立野	
内野 陽貴	貴文	麦生田	
村口 瑛汰	正行	郡下	
福重 羽珀	春樹	つつじヶ丘二区	
古城 大馳	貴之	飯牟礼中	
別府 優斗	俊一	妙円寺一区	
堤 俐智	誠	麓東	
立野 龍虎	妙香	中福良	
泉井 聖羅	香	つつじヶ丘二区	
橋口 菜子	雅宏	向江町	
谷之口 颯真	慎也	妙円寺五区	
大迫 結菜	正大	猪鹿倉	
黒木 夢桜	則彦	猪鹿倉	
上大田 英慈	和巳	瀬戸内	

川畑 優依	純	妙円寺九区
清水 翔惺	健太郎	中川

東市来地域

(出生児)	下池 奏汰	(保護者)	明 上野西
中池 穂香	将太	中央	
下別府 佳志	孝行	堀内	
西瀬戸 咲	章	皆田東	

日吉地域

(出生児)	加藤 美咲	(保護者)	浩晃 熊野
-------	-------	-------	-------

吹上地域

(出生児)	豊山 功己	(保護者)	祐介 東宮内
村中 碧音	裕美	下中之里	
山内 逢花	輝行	東宮内	



二月受付分 (敬称略)

伊集院地域

(故人)	小吹 定美	(享年)	77	(自治会)	天神馬場
	松木源次郎	98		大田中	

有島 勝雄	90	上神殿
田畑 行雄	74	郡上
前村 チエ	91	竹之山
有田 芳久	77	猪鹿倉
松元 トキ子	81	向江町
平川 和子	58	郡下
榎園 勲	82	腰
萩原 親志	83	天神馬場
小田 ヨシ子	80	猪鹿倉
山口 行雄	85	麓東
松尾 兼義	82	銀天通
上平田 フヂエ	91	下土橋

東市来地域

(故人)	横手 ミカ	(享年)	91	(自治会)	元養母
芝 由美子	44	元湯			
福添 サチ子	88	元湯			
清藤 テルヨ	97	田代			
山内 親盛	90	向湯田			
石神 國夫	70	杉之迫			
田淵 ヨシ子	85	中伊作田			
平松 鐵夫	76	柿之迫			
上園 ミツ子	84	南神之川			
奥田 弘己	85	下養母			
江田 久子	80	神之川			
横手 ヒロ子	73	元養母			
富迫 まゆみ	48	城之町			
北山 健矢	84	北山			
上和田 和海	81	元養母			
山元 正	90	元湯			

日吉地域

(故人)	島田 勝秀	(享年)	96	(自治会)	草原
新内 フヂ	87	熊野			
面元 喜一	91	八幡			
野元 包	92	笠ヶ野			
廣中 伊佐男	94	扇尾			
塚元 誠一	98	西郷			
松村 サチ子	79	南区			

吹上地域

(故人)	森田 幸治	(享年)	76	(自治会)	小牧
坂口 千江子	86	下田尻			
秋葉 トヨ	93	草田原			
栗野 和子	96	小牧			
田中 テル	79	中和田			
小永 吉タツ子	92	下草田			
上谷 フミエ	90	永吉中央			
小園 スミ子	83	入来			
櫛木 ハツ子	91	平鹿倉			
松尾 勇	86	佑心会			
宮後 クサエ	88	亀原			
上山 幸子	87	湯之元			
船倉 勇	79	今田			
四元 一美	52	笠口			
福留 隆		西本町			

ギャラリー 私の作品展

『情熱家』

はかた 博多 かずひろ 和宏さん 吹上町野首

自分が創作したものを人が見てくれる。書いてみたらいろいろの人に褒めてもらうことができた。これが私の創作活動の原点でした。

吹上地域で FUKIAGE WANDER MAP を開催するようになって4年目を迎えました。野首地区公民館に協力をいただき、「創造と表現による地域振興の実践」をテーマに活動しています。全国から多くのアーティストを誘致し、芸術と地域の融合を県内外の来場者に楽しんでいただいています。

吹上町が芸術、アートの都としてパリを越えるものになったらいなという目標があります。今後も地域活性化を含めて、目標達成に向け活動を行っていききたいと思います。



ウォッチまちの文化財 79

だいにちじ 大日寺跡石塔群 (東市来地域)

東市来地域の鶴丸小学校の、裏山の一角に、数十基の墓石が集めてあります。これは、鶴丸小学校の敷地に、江戸時代まで大日寺というお寺があった名残です。

校門近くにある大イチョウは大日寺からのものといわれています。同じ敷地内の鶴丸幼稚園の裏庭にある仁王像は寺の門にあったものと伝えられています。

大日寺は鹿児島市にあった真言宗の大乗院の末寺で、本尊は大日如来であったそうです。承元年間(1206～1210)に島津初代当主忠久の母、丹後局が建て、本尊も寄贈したと伝えられています。

江戸時代に描かれた三国名勝図会(1843)を見ると、標高約100mの裏山の頂上に阿弥陀堂があったことが分かります。阿弥陀堂の礎石は現在も残っています。

明治2年に廃仏毀釈で廃寺となりました。昭和2年に学校の拡張工事があり、残っていた歴代和尚の墓などを現在地へ移しました。



大日寺跡石塔群

Access



夢へ向かって

鶴丸小学校

六年

町田

将悟くん

「うち、に、さん・・・」
一日の最後の日課は素振りだ。時には父が、忙しい中につきあってアドバイスしてくれる。ぼくは今、ソフトボールをやっている。将来、プロ野球選手になりたいという夢があるからだ。

野球の世界の厳しさだった。ぼくは、その現実を知ることより一層、なりたいたいという気持ちが強くなった。
ぼくは今、自分のための努力をしている。早朝ランニングと自宅でのトレーニングだ。この努力を続けることで一歩ずつ自分の夢に近づいていきたいと思う。そして、いつかあこがれのユニフォームを着てプロ野球のグラウンドに立ち真剣勝負がしたい。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	51,134人(▲110)
男	23,964人(▲52)
女	27,170人(▲58)
世帯数	22,447 (▲87)

3月1日現在()は前月比

東市来地域	12,378人
伊集院地域	24,670人
日吉地域	5,396人
吹上地域	8,800人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「芸術とともに地域おこし」

芸術と地域が溶け合う FUKIAGE WANDER MAP 2012が、2月18日から26日にかけて行われました。野首地区(吹上)住民と全国各地から集まったアーティストが協力し、地域を盛り上げました。

市税の納付は、便利で確実な口座振替を利用しましょう！
あなたの預貯金口座のある金融機関へお申し込みください。

No.83 平成24年3月号 2012. 3. 23発行

発行/日置市役所
総務企画部企画課

〒899-2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063

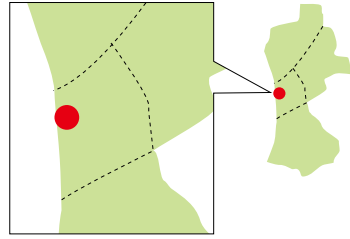
東市来支所
TEL 099 (274) 2111

日吉支所
TEL 099 (292) 2111

吹上支所
TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

わが地域



日新地区公民館
(日吉地域)

二潟、山田、日新の三つの自治会からなる日新地区。日吉地域の北西に位置し、三百五十七世帯、八百十人が暮らしています(平成二十四年三月一日現在)。
地産地消に基づく焼酎造りや鬼火焚きなど、今年度から取り組んだ企画も多く、常に新しいことに積極的にチャレンジしている元気な地域です。

日新地区公民館(日吉地域)

元気よく安心して暮らせる地区に



今別府 利行 館長

日新小学校の隣にある日新地区公民館。普段から子どもたちの明るい声が聞こえています。公民館運営は、役員と七つの専門部が中心となって行っています。月に一回話し合いの場を設け、今後の公民館運営やさまざまな新しい企画について意見を交換をしています。
今年度は、新しい企画として、「焼酎造り」と「鬼火焚き」を行いました。



大好評だった地区の焼酎

もと、地区農家の方が生産しているお米を原料にしました。当初は約二百三十本の予約でしたが、出来あがるころには地区民の方から五百五十本を超える注文がありました。
地区民の方々に本当に喜んでいただくことができました。

鬼火焚きは、ずっと行われていなかったものを何十年ぶりに開催。経験者の方にアドバイスをいただきながら、地区民で協力しながら行いました。子どもたちが、初めての鬼火焚きをと



初めての鬼火焚き

でも喜んでくれたのが印象的でした。
これからの公民館運営の目標が二つあります。
一つ目は、もっと多くの地区民に行事に参加してもらおうこと。地区全体の方に参加してもらえ、行うに積極的な働きかけを行っていききたいです。
二つ目は、高齢者見守り活動に取り組んでいくこと。独居の高齢者が増え、孤独死の問題も出てきています。この問題を地区全体で支え、高齢者を見守っていききたいと思えます。
この二つの活動を中心に、これから地区民が元気よく安心して暮らせる地区を目指します。

皆様は歳をとるにつれて一年が早く感じることはありませんか？振り返ると「確かに！」と納得される方も多いのではないのでしょうか▼「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する」。これはジャーネーの法則といって、歳を取るにつれて一年が経つのが早く感じることを心理学的に表したものです▼この法則によると、一年を「1/年齢」の長さで体感していることになりました。私でしたら一年の長さを1/25に感じているということですね▼昨年四月の異動で広報マンになり、五月号で皆様に初めてお会いしてからあつという間に一年が過ぎました。しかし、その間にたくさんの方の皆様の笑顔にふれ、話を聞いて笑い、元気をもらいました。この一年が私にとって人生の1/25でなかったことは間違いありません。四月号になっても編集たいむがあったら異動じゃなかったんだなと思ってください(笑)▼本当に本当に一年間お付き合いくださりありがとうございました。(真)

編集たいむ

